



# 議会だより だいせん



23号  
2011年1月発行  
鳥取県大山町議会



12  
月  
定  
例  
会

サッカー場整備を議論  
新成人に聞きました！  
上下水道料金統一へ

みんなのひろば 声

12

26

2

28

# 12月の 何が変わったの？ 議会で

平成23年1月1日から

**小児用肺炎球菌ワクチンと  
子宮けいがんワクチンの  
接種費用が全額助成**されます

大山町がすでに助成している

**ヒブワクチン**は

平成22年**7月1日以降**に

接種した費用が**全額助成**されます  
(すでに1回3000円の助成を受けた人は  
残りの個人負担分を全額助成)

## ↑ ヒブワクチン

Hi b (ヒブ) は、ヘモフィルスインフルエンザb型菌の略称。  
冬に流行するインフルエンザとは異なる。  
さまざまな感染症を起こすが、中でも乳幼児の細菌性髄膜炎は要注意。

平成29年度

**上下水道料金統一**を決めました

上水道は平成23年4月から

下水道は平成24年4月から

**段階的に料金を改定**します

## 平成29年4月からの上水道料金表 (町内一律)

口径mm	基本料金 (8m <sup>3</sup> まで)	超過料金 (9m <sup>3</sup> ~100m <sup>3</sup> )	超過料金 (101m <sup>3</sup> 以上)
13	840.00		
20	846.30		
25	857.85		
30	912.45	147.00 (1m <sup>3</sup> あたり)	163.00 (1m <sup>3</sup> あたり)
40	966.00		
50	1,257.90		
75	1,464.75		
100	1,607.55		

※1カ月あたり、単位 (円)

## 平成29年4月からの 下水道料金表 (町内一律)

一般家庭	世帯割	2,000
	世帯員割	500
事業所等	基本料金 (10m <sup>3</sup> まで)	2,000
	水量割 (1m <sup>3</sup> あたり)	137

※1カ月あたり、単位 (円)

# チェックします！ 議案質疑

質疑とは、予算案や条例改正案などの疑問点に対して、詳しい説明を求めることです。あくまでも目的は、問いただすことなので、自分の意見を述べることはできません。

補正予算とは、年度当初に決まった予算を変更するものです。

## 地域保養施設（山香荘） 特別会計補正予算

**【野口議員】**  
地域保養施設の使用料収入を増額する理由は、**【観光商工課長】** 使用料の増額は、決算見込みに基づくもの。当初計上額よりも利用が多かったことが要因。利用が増えた分は人件費等も多くなる。修繕料等は、修繕が必要となったために計上する。



### 使用料

## 国民健康保険診療所 特別会計補正予算

**【西尾議員】**  
診療所が赤字経営でも許されるのはどの程度か。  
**【保健課長】**  
名和・大山口の診療所は、黒字を毎年続けている。へき地診療所である大山診療所は赤字経営。早急に1階部分の固定医を見付け、外来も安定させなければならぬ。



### 診療所

**【西尾議員】**  
固定医は2年ほど不在。状況などを報告すべきだと思いがどうか。また、\*ジェネリック医薬品使用の考え方は。  
**【保健課長】**  
前向きな話ができる医師は見つからないが、2人の医師に打診を続けている。引き続き努力したい。ジェネリック医薬品は、使用頻度を高めることと、患者への意識啓発が必要だと感じる。  
**【ジェネリック医薬品】**  
後発医薬品のこと。特許が切れ、安価で供給できる医薬品。  
2009年の普及率はアメリカ71%、イギリス65%に対し、日本は20%と普及が進んでいない。

## 平成22年度 一般会計補正予算

### ワクチン助成

**【竹口議員】**  
子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種助成が開始されるが、助成金額決定の検討内容は。  
**【保健課長】**  
国の指針の公費カバー率9割に見合った助成額。  
**【竹口議員】**  
接種率の向上はどのくらいか。  
**【保健課長】**  
9割程度の助成で、接種率は高く  
**【町長】**  
指摘された全額助成や、さかのぼっての実施も検討したい。  
→平成23年1月1日から全額助成開始



### 増額の理由

**【岩井議員】**  
過疎対策事業債増額の内容は。  
**【総務課長】**  
今年度から過疎地域に指定され、ソフト事業にも使えるようになった。対象事業は大山町過疎地域自立促進計画に詳しく載せている。  
**【岩井議員】**  
大山寺足湯建設工事の増額理由は。  
**【観光商工課長】**  
経済波及効果を



### 大山診療所

#### ↓大山診療所2階の目的外使用

大山診療所は、平成15年に旧大山町が病院事業債という借金で建設。平成23年度から、2階の入院病棟は、建設時の目的と異なる介護サービスに使用するため、借金の一部を一括返済しなければならない。

**【大森議員】**  
国民健康保険診療所特別会計への繰出金、2億3000万円の内容は。  
**【保健課長】**  
大山診療所2階部分は、大山やすらぎの里に貸し、介護老人福祉施設として活用する。目的外使用のため、約2億円の借り入れ金返済が必要。それと合わせ、スプリンクラー等の整備も行う。



### 足湯

**【吉原議員】**  
大山寺足湯は、地元の人が運営管理している。平日休みがあつて苦情が出たと聞く。その状況をどう思うか。  
**【観光商工課長】**  
現在の足湯は仮設であり、自治会がイベントや紅葉の時期に設置している。施設があつても、使用してない日の方が多い。



# 経済建設常任委員会

12月13日・16日の2日間、  
陳情2件と所管の事務調査および  
簡易水道6カ所の水源、配水地の現地調査と  
むきぼんだ配水拡張区域の視察調査を行いました。



## 販売好調 大山口団地

### 建設課

**今** 年売り出した大山口団地は、12区画のうち10区画に申し込みがあった。残り2区画は再募集する。また、ナスパルタウンは、40区画の売れ残りがあり販売に努力するよう指摘した。現在、イオン日吉津に広告板を設置する予定である。若者向け住宅は全戸入居が決まった。

山陰道東伯中山道路が今年度開通となる。交通量が増え、農耕車と高齢者の道路横断が危険となるため、地元から信号機の設置要望が出ている。名和中山道路は、町の文化財調査が終了し、県に引き継いだ。町道一の谷赤松線の改良工事は地権者が多いため、今年度の工事実施が困難となった。次年度に改めて予算計上する。

↑ 山陰道東伯中山道路  
大栄東伯1Cから赤碕中山1Cまでの1.2km。  
平成23年2月27日開通予定。

## 料金統一 本格化

### 水道課

**合** 併協議でも懸案であった上下水道料金が平成29年度に全町統一になる。ひかりが丘団地のコミュニティプラントを公共下水道に接続し、処理費用の軽減を図る。また、光徳処理施設では、汚泥の減量化の実験に取り組んでいる。

9月定例会で協議を急ぐように指摘をした開拓専用水道は、交渉に時間をかける必要がでてきた。



販売開始直後に残り2区画となった大山口駅前の分譲地（大山口団地）

## どうなる農産物 処理加工施設

### 観光商工課

**7** 月から本格稼働した農産物処理加工施設は10月末現在で約1000万円の赤字となっている。下期で巻き返すために委託受注の拡大、販売促進などの指摘をした。

大山寺に建設する足湯は、地元との協議で参道ギャラリー横から景観のよい元駐在所の跡地に変更になった。そのために、予算の増額をする。

手づくり工房 大山恵みの里（農産物処理加工施設）

## 漁業後継者 育成のために

### 農林水産課

**有** 害鳥獣駆除でイノシシ103頭を捕獲した。被害の報告は昨年より減少している。今年、研修が終了する新規漁業者1人に、漁協を通じて船を貸し出す漁業経営開始円滑化事業を新設する。来年度も1人この事業を活用して漁業を始める。

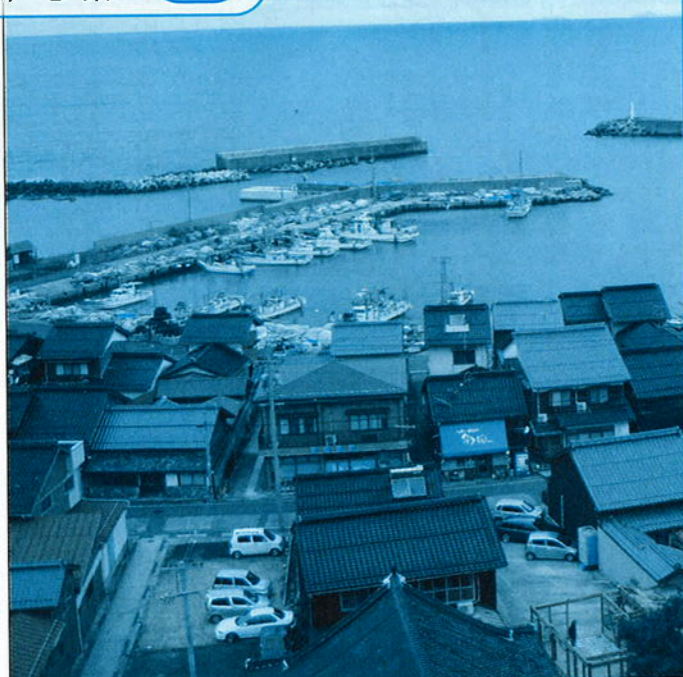
耕作放棄地再生利用推進事業は、全体で35haの実施見込みである。今年度限りであったが、引き続き来年度も予算化できそう。中山間地直接支払推進事業は、74集落と2個人の合計76件の申し込みがあった。

## 積極的な 情報開示

### 農業委員会事務局

**町** 民の「活動がわからない」と言う声にこたえて、今年初めて広報誌「農業委員会だより」を発行し

た。会議録や標準的な作業賃金など、ホームページを通して積極的に情報を開示していく予定である。



大山町役場本庁から望む御来屋漁港

# 教育民生 常任委員会

12月13日・17日の2日間、  
陳情1件と所管の事務調査および  
伝統的建造物群保存地区をめざす所子集落の現地調査と  
拠点保育所建設予定地の視察調査を行いました。



## ワクチン全額助成

保健課

**1** 月1日以降、小児用肺炎球菌ワクチンと子宮けいがんワクチンの接種費用が全額助成される。  
また、ヒブワクチンは、昨年7月1日以降に接種した費用の全額が助成される（すでに1回3000円の

助成を受けた人は、残りの個人負担分を全額助成）。  
大山診療所2階部分は、介護老人福祉施設へと用途が変更となる。そのため、借入金のうち約2億円を、一括で返済しなければなら



後世に伝えたい伝統的建造物

## 伝統的建造物群

社会教育課

**所** 子集落の重要伝統的建造物群保存地区選定をめざして取り組んでいる。歴史的な町並みを後世に伝えていくためには、国の

選定が大きな力となる。農村集落としての保存地区は全国に2例しかなく、全国3例目をめざして地元と協力し進めていく。

## ごみ焼却の一部を 米子市に委託 住民生活課

**中**

山清掃センターの焼却処理場は停止となる。平成23年4月1日から、名和クリーンセンターのみで処理しきれないごみは、米

子市に焼却を委託する。また、来年度に向けた試験運転で、名和クリーンセンターの焼却を1日2時間延長している。

## 小中学生にも 資格証発行 福祉介護課

**特**

別医療費受給資格証の発行が、平成23年4月から県内の小中学生にも拡大される。

資格証の提示をすれば、窓口での支払いは一部負担金（1回あたり530円）のみとなる。

# 総務 常任委員会

12月16日・17日の2日間、  
陳情1件と所管の事務調査、  
および委員による意見交換会を行いました。



## 相次ぐ不祥事を指摘

**平**

成22年10月、企画情報課の職員が、国勢調査用紙の配布を3週間も遅延させていた。さらに、大山支所総合窓口課の職員が、電話料金の支払いを遅延させ、不適切な会計処理を行っていた事実が発覚した。12月に入って3人の職員が懲戒処分を受けた。

昨年からは、役場職員の不祥事が続いており、町長からは、再発防止に努めていると報告を受けていた。それにもかかわらず、続けて起こったため、不祥事発生の際、再発防止を求めた。

本町では、昨年2月に、大山支所総合窓口課でゴミ袋代金の紛失事件が発覚。5月には、山香荘で食中毒事件が起き、無許可営業状態の事実が発覚。あわせて10人の職員が懲戒処分を受けていた。  
未解決の紛失事件は、八橋警察署への積極的な協力と早期解決を求めた。

# ザ・常任委員会<<総務編>> 近日放映!!

総務委員会では、12月17日、「消防・防災体制の充実と交通安全について」をテーマに、以下の内容の意見交換を行いました。

- 消防・防災体制の充実
- 自主防災組織
- 自然災害への備え
- 狭い集落道の計画的改善
- 交通安全
- 通学路の安全確保
- 高齢者の交通安全対策

この模様は、『ザ・常任委員会<<総務編>>』として録画され、近日、大山チャンネルで放送予定です。  
ぜひ、ご覧ください！





# 山香荘フットボールセンター計画

現在、名和地区の山香荘を改修して、鳥取県フットボールセンターを整備する計画が進められようとしています。サッカーグラウンドを整備し、大山周辺の活性化をめざす意見や、改修後も町民の利用が少ない施設に、税金が使われることを懸念する意見などを出し合い、さまざまな角度から議論をしています。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員長などの基本方針を問うものです。

都道府県フットボールセンターは日本サッカー協会が認定する施設。サッカーグラウンドやクラブハウス等が整備され各都道府県のサッカーの拠点施設となります。

## 一般質問で7人が論争!

大山町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある、本会議場での傍聴をお待ちしています。

### 計画は中止を!

町長 → 3月議会に提案する

【野口】山香荘は、町民の利用がほとんどない中で、毎年多額の町費が注ぎ込まれている。フットボールセンター計画で町費の注入は少なく、山香荘の有効利用と地域活性化が図れるとしている。人口が減少している社会情勢、財政が苦しい現状で、町民がほとんど利



野口昌作 議員

用できないサッカー場を建設するのか。計画は中止すべきと考えるが。

【町長】本施設は町民の利用よりも、町外・県外の人の利用で交流人口を増加させ、地域経済の活性化を図ることが目的。フットボールセンターを整備し、スポーツ合宿を中心とした運営にする。交流人口増加による地域活性化構想の中で検討を重ね、3月議会に提案する。

### 町有地の活用方法は?

町長 → 最後は議会の議決

【米本】後期総合計画の説明会の時、あわせて山香荘の活用計画を町民に説明した。しかし、今までに活用方法の募集や、意見交換をしていない。地域住民や町民合意なく進めていいの。いま、町民から意見を



米本隆記 議員

募集しているが、反対意見が多い時は計画の廃止や変更を考えるのか。また、他の町有地も具休案がまとまった段階で周知することは、町民不在の行政にならないか。

【町長】職員による検討や所在地区への要望調査をして、町民の意見や要望を行政に反映している。いま、山香荘の町民の利用はほぼない状態。今回の再整備構想で、より町民が利用しやすい施設にする。

町民の反対意見が多いということは、本会議で議員の過半数に反対されると認識している。耳に届いた範囲での多数意見にしたがって行政を推進することは無責任と考える。議会で十分な議論をし、施策を決定することが、議会制民主主義であると考えられる。

### 町民のためになるのか?

町長 → 町の考え方を運営に取り入れてもらう



諸遊壊司 議員

【諸遊】山香荘の再生策は「中止・現状維持・県サッカー協会に指定管理に出す」の3案のみ。同時期に建設された同規模の南部町緑水園は、年間売り上げ1億2700万円、山香荘は2200万円。経営努力はしたのか。

【町長】平成19年度から3年間、御来屋振興株式会社に指定管理をしてもらったが、成果がな

【諸遊】大山ツリーズの拠点施設や町民利用ができる施設にする計画しかし、サッカー協会が指定管理をすると、町民の利用はできないと思うが。

【町長】サッカー協会に町の考え方を取り入れてもらう必要がある。バンガローやキャンプ施設はサッカー以外の分野にも利用できる。

【諸遊】耐震化していない施設は、将来建て替えるが必要となる。その時の費用は誰が支払うのか

【町長】山香荘は町の施設なので、建て替えが必要な場合は町が行う。しかし、建て替えが必要という理由は、今のところ承知していない。

【諸遊】町民の反対が多い場合、この計画を中止するのか。

【町長】議会制民主主義が地方行政の原則。町民代表の議員で構成する議会が賛否を決める。

12月定例会 委員会報告 一般質問 一般質問

12月定例会 委員会報告 一般質問 一般質問

# 山香荘フットボールセンター計画

## 一般質問で論争!!



吉原美智恵 議員

### 指定管理の状況と課題は?

町長 指導監督をしていく

〔吉原〕 指定管理者制度は、公共施設の有効利用や経費削減の観点から、本町でも多くの施設が委託されている。公共施設は「住民の福祉を増進する目的を持ってその利用に供するための施設」である。この観点に返ってみると、現

状は町民のニーズや有効利用に合致しているか。また、その行政の監督や指導責任は、「山香荘」は指定管理導入が検討されているが有効活用という点ではどうなのか。

〔町長〕 本町では、福祉センター、社会体育施設、中山温泉館等に指定管理者制度を導入している。この中で、社会体育施設は、植栽の管理、野球場の管理等の指摘があり、管理者を変更し、指導・監督している。住民へのサービス向上という視点で、しっかりと自覚しながら取り組んでいく考えである。

山香荘は、サッカー協会との話が進むということになれば、たくさんの方が集い、施設の利用率が大きく改善される。そのことで、町内各所に経済波及効果をもたらす、知名度の向上にも役立つと考えている。



大森正治 議員

### 町民に歓迎されるものに!

町長 この活用策が現実的

〔大森〕 神田「山香荘」へのフットボールセンター計画について、住民説明会で批判的な意見や疑問が多かった。フットボールセンターありきではなく、町民のためにどう活用し再生させるかまず論議を。一例として、グラウンドゴルフ場、老人養護施設、それらとフットボールセンターとの併設、町民の森、オートキャンプ場、等々。

様々な角度から利活用を考えたい。フットボールセンター以外の利活用は選択肢にないのか。

〔町長〕 これ以上の効果をもたらす活用策があれば取り入れたいが、現段階ではフットボールセンターの活用策が最も現実的で効果も大きい。

〔大森〕 フットボールセンター以外ではなげいけないのか。

〔町長〕 様々な提案は実現性があるのか。相手を見つけて取り組まなければ、山香荘の現状は打破できない。

〔大森〕 時間をかけた町民的論議をすべきではないか。

〔町長〕 基本的にはそう考え、いま意見を募っているところだ。ただ、長期間議論を続けることがプラスにならない。日本サッカー協会の助成金も無視できない。

強い山香荘ファンをつなぎ止め、大山北麓エリアの活性化を推進する。施設の稼働率向上で収益の向上が見込める。県西部に少ない芝グラウンドを整備することで、大山北麓の価値の向上や、大山寺旅館街との合宿誘致の促進など、観光の交流施設として経済効果を生む。

### フットボールセンターの目的は?

町長 大山北麓の活性化



近藤大介 議員

〔近藤〕 山香荘で、フットボールセンターの整備が計画されている。スポーツ合宿の需要はたくさんあり、サッカーを中心に県内外からの合宿や大会が誘致できる。地域経済の活性化も図れると思うが、町民への説明が十分とは言えない。整備の目的は。

〔町長〕 従来からの根

〔近藤〕 観光振興との関わりと位置づけは。

〔町長〕 観光は、本町の基幹産業のひとつであり、体験型、交流型、滞在型の「観光交流産業の確立」を推進したい。山香荘は大山北麓エリアの重要拠点。大山寺から香取を経て、神田、陣構、御来屋へと至る北麓エリアは、豊富な観光資源を活かしていない。フットボールセンターの整備を通じて、北麓エリアの活性化を支えていきたい。

強い山香荘ファンをつなぎ止め、大山北麓エリアの活性化を推進する。施設の稼働率向上で収益の向上が見込める。県西部に少ない芝グラウンドを整備することで、大山北麓の価値の向上や、大山寺旅館街との合宿誘致の促進など、観光の交流施設として経済効果を生む。



竹口大紀 議員

〔竹口〕 フットボールセンター整備と、山香荘再生計画は分けて検討すべきではないか。

〔町長〕 フットボールセンターのみの整備なら町内に適地が何方所かある。しかし、山香荘を現状のままにできない。

〔竹口〕 サッカーグラウンドが2面ないと、フットボールセンターに認定されないのか。

〔町長〕 認定要件に面数の規定はないが、2面だと利用率が高まる。

〔竹口〕 認定要件に近い設備のある名和総合運動公園が適していない理由は何か。

〔町長〕 適していないとは考えてない。しかし、山香荘の再生計画が大きなテーマ。

〔竹口〕 宿泊業への波

### 再生計画と分けて検討しては?

町長 セットで進める

及効果も計画にあがっているが、効果を最大化するならば町が宿泊施設を所せればよいのでは。

〔町長〕 山香荘を再生するのが計画の目的。

〔竹口〕 早くしないとサッカー協会からの助成金が出なくなるといふ行政の判断は、過去の他県の事例をふまえて判断したのか。

〔町長〕 今のタイミングに確かな手ごたえがある。1年先延ばしにして助成金がなくなれば、逆に指摘を受ける。

一般質問

特選